

1 単元構想

本単元で身に付けたい力

二つの物を比較し、目的に応じて必要な情報を選び、同じところと違うところを整理して文章に書く力

言語活動とその特徴

本単元では、身近にある二つの物の共通点と相違点を整理して文章に書き、「どっちがどっち?お買いものぼっちり図かん」を作る活動を設定している。一、二年生が買い物をするときに似ている野菜や果物を見分けて正しく買えるような図鑑を作るという課題意識を持たせることで、比べる目的や構成や書き表し方を工夫する必要性を感じさせることができる。と考える。

教材の特質

本教材は、身近な二つの物を比べて、分かったことを表にまとめ、整理して文章に書くという構成になっている。二つの物を観点ごとに比較し、分かったことを表にまとめることで、共通点と相違点が明確になる。そして、その表を使って文章を書くことで、共通点と相違点を読み手に伝わるように、整理して文章を書くことができる、発達段階に即した教材である。

児童の実態

観察記録文を書くことは、生活科で一年生から行っており、気付いたことを楽しんで書ける児童が多い。二年「かんさつしたことを書こう」では、色や形、大きさなど観察する観点を決め、様子が伝わるようにカードに書く活動を行った。学習後、様々な観点到着目して書くことができる児童も増えた。しかし、見たことや思ったことを思いついたままに書いている児童が多く、まとまりや順序を意識して書くことは全体的に弱い。

指導観

第一次では、似ている野菜や果物が多いことを実感できるように買い物場面を設定する。野菜や果物を正しく見分けて、間違わずに買い物ができるように、二つの物を比べて分かったことを図鑑にし、一年生に紹介するという目的意識を持たせるようにする。  
第二次では、教科書の教材を使って、二つの物を比べる観点や表へのまとめ方、文章の構成を指導する。比べる際、観点を子どもたちに見付けさせ、掲示しておき、自分の題材を比べる時の手立てとする。表にすることの良さも感じられるように助言する。また、分かったことの中から買い物場面で役立つ観点を選ぶ必要性に気付かせ、既習を生かし、自分の選んだ題材で文章を書く活動を行う。その際、順序やまとまりを意識して書けるように支援していく。  
第三次では、書いた文章を読み合い、相手に伝わる文章を書くためには、書く順序や書き表し方を工夫することが重要であることを実感させたい。

2 単元の目標及び単元の評価規準

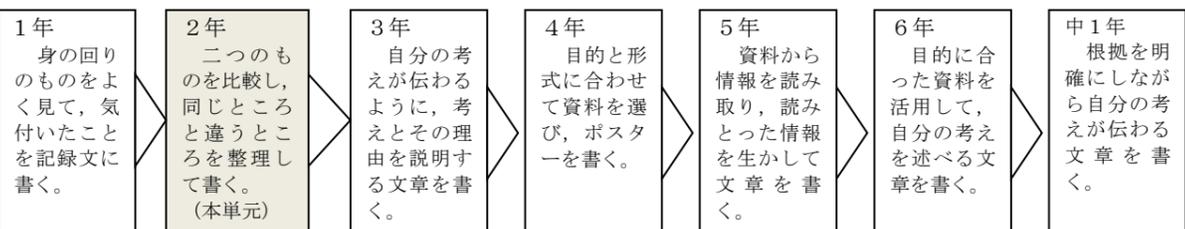
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
比較した二つの物を、観点到に沿って表に整理し、題材に合った共通点や相違点、事柄の順序を考えることができる。(2)ア	「書くこと」において、比べて分かったことを伝えるために、どのような言葉を用いるかを考え、内容のまとまりが分かるように、書き表し方を工夫できる。B ウ	進んで内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、観察したことを書くことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比較した二つの物を、観点到に沿って表に整理し、題材に合った共通点や相違点、事柄の順序を考えている。(2)ア	「書くこと」において、比べて分かったことを伝えるために、どのような言葉を用いるかを考え、内容のまとまりが分かるように、書き表し方を工夫している。B ウ	進んで内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、観察したことを書くとしている。

3 単元の系統性



4 研究主題に迫る手立て

研究主題: 目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方  
—学習過程の工夫と情報の扱い方に関する指導を通して—

- 二つの物を比べる際やモデル文から、比べる観点を子どもたちに見付けさせ、教室に掲示することで、比較の観点を見付け出す力を身に付くようにする。(学習過程の工夫)
- 比べて分かった事柄の中から、場面に適した必要な情報を選び、整理して文章に書くことができるようにする。(情報の扱い方の指導)

5 学習の流れ

学習過程	主な学習内容及び学習活動	【 】評価規準・○指導上の留意点	言語活動	言葉による見方・考え方の成長
学習目的の理解と見通し 理解と表現の螺旋的な学び 表現活動・単元の振り返り	題材の設定	①二つの物の同じところと違うところを見付け、観点を出し合う。ゴールを確認し、学習計画を立て、図鑑を作るという目的意識を持つ。	○比べるときには、どんなところを比べるかという観点を決めると物の特徴をつかみやすくなることを確認する。 ○「どっちがどっち?お買いものぼっちり図かん」を作ることを伝え、文章を書く目的や整理して書く必要性を持たせるようにする。【主】	似ている野菜や果物って多いんだね。お買い物で困らないようにぼくは、ほうれん草と小松菜を図鑑に載せたいな。どんなところを比べるといいのかな。
	情報の収集・内容の検討	②二つの物を比べる観点を出し合い、同じところと違うところがはっきり分かるように、表のまとめ方を考える。	○観点は比べるものによって違うことを確認し、より多くの観点を取り上げるようにする。 ○表にまとめるときは、短く書くように助言する。	教科書に載っているりんごとなしは、色、形、大きさ、食べ方で比べているね。そういうのを観点っていうんだね。
	構成の検討	③④題材の特徴がより伝わる観点を選ぶ必要性を知り、観点を選ぶ。選んだ観点を文章に表す方法を教科書で確認し、適切な言葉を使って文章に書く。	○文章を書くときは、分かったことの中から場面に適した観点を選ぶ必要性に気付くように支援する。【知・技(2)ア】 ○比較の観点は事前に把握する。	ほうれん草と小松菜は、色や大きさは似ているな。でも形が違う。他にはどんな観点で比べられるかな。
	考えの形成・記述・推敲	⑤自分の選んだ題材を色々な観点で比べ、表に整理する。	○自分の考えを伝えるためには、必要な観点を選び、書く順序や書き表し方を工夫することが重要であることを実感できるようにする。【思・判・表Bウ】	表に整理すると同じところと違うところがすぐ分かるね。
	共有	⑥自分の選んだ題材について順序や書き表し方を工夫して文章に書く。【本時】	○図鑑を読んだ人に特徴が伝わるように順序やまとまりを意識して書くようにさせる。【主】	比べて分かったことがたくさんあるけどどれを文章に書けばいいかな。
		⑦書いた文章を読み合い、学習を振り返る。	○自分の考えを伝えるためには、必要な観点を選び、書く順序や書き表し方を工夫することが重要であることを実感できるようにする。【主】	買い物するときに買いたい物の特徴が分かって、似ている物と見分けられるようなことを選ぶといいね。
				どんな順序で書けばいいかな。すぐ見て分かることから書けば、読む人がわくわくするね。

二つの物を比べて、分かったことを整理して文章に書き、「どっちがどっち?お買いものぼっちり図かん」を作る。

本単元終了時の目指す児童の姿  
○複数の情報(二つの物を比べ分かったこと)の中から二つの物の特徴を明確にするための情報を選ぼうとする姿  
○比べて分かったことを伝えるために構成を考えることの必要性を感じ、順序を考えて書く姿

6 本時の学習 ( 6 / 7 時間)

(1) 目標

場面に適した事柄や言葉を選び、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。

(2) 展開

学習過程	学習活動 及び 学習内容	主な発問等 (※) 予想される児童の反応 (○)	指導上の留意点 (●) 評価規準及び評価方法 (☆)
学習目的の理解	1. 今までの学習を想起する。 2. めあてを確認する。	○二つの特徴や見分け方が分かるように同じところと違うところを分かりやすく書きたいな。  めあて 二つのものを見分けられるように、同じところと違うところを整理して書こう。	●書いたものが図鑑になることを確認し、相手を意識させ、書きたい意欲を高める。
情報選択・整理	3. 表から文章を書く情報を決める。 ・比較の観点及び効果的な順序 (全体・個人)	○同じところはたくさんあるけど、二つの物の特徴がよく分かるのはこれとこれかな。 ○買い物するとしたら、まず… ○同じところの順番も大事だね。	たくさんある情報の中から買い物場面に適した事柄を選ぶ。  ●表で書く順番を確かめる。
表現・評価	4. 表から選んだ情報を整理して文章に書く。 ・内容のまとまりのある表し方 (個人・ペア) (全体) (個人・ペア)	※ (表から選んだ情報を文章にするとき) どうしたら分かりやすい文章になりますか。 ○手触りが違うから、そのことを書きたいけどどう書けば良いかわかりません。 →「～は、～だけど、～は、～です。」はどうかな。 ○色がちがうのだけど、「違うところは色です。」でいいかな。葉の色は一緒だけど… →どの部分の色って書けばいいよ。 ○書く順序を工夫したよ。ぱっと見てわかることから先に書いたよ。買い物に行ったら、色を先に見るからね。 ○「どちらも」を使って書くとすっきりして分かりやすいね。	●困っている児童、自分の文章が伝わる文章になっているか確かめたい児童を取り上げるようにする。 ●上手に書けた児童を全体で取り上げ、確かめる視点を示す。 ●整理して書けているか、視点に沿って確かめ合えるように支援する。 ☆【思・判・表 Bウ】 (発言・ワークシート・ノート)
推敲			
振り返り	5. 振り返り 家庭学習 吹き出しに書くことを考えてくる。	○私は、形や色、大きさなど観点の言葉を入れて書きました。買う人が何をみればいいのか分かるからです。	●文章を書くときに気を付けたこととその理由を書くように指示する。

(3) 板書計画

文章を書くときに気をつけたこととそのわけ

文章 (モデル文) の拡大

表の拡大

めあて  
お買い物がバッチリできるように、同じところとちがうところをせりして書こう。

ふりかえり

整理して書くために

- ・段落 ①くらべるもの
- ・②同じところ (数)
- ・③ちがうところ
- ・観点の言葉
- ・比べるときに使う言葉

えらび方

- ・買い物するとき役立つように
- ・買い物に行くときを想像して
- 色↓大きさ↓さわり心地

同じところ ちがうところ

(4) 準備物

表, ワークシート, 書画カメラ

言語活動のモデル

くらべて分かったことをひょうをつかっせてせりしよう!

名前( 小じま みさき )

同じちがう	かん点	くらべるもの ぶんだん	くらべるもの グレープフルーツ
② ○	色	黄色	黄色
① ○	形	丸い	丸い
	大きさ	グレープフルーツより少し大きい	ぶんだんより少し小さい
	食べ方	かわをむいて食べる	かわをむいて食べる 半分はかき混ぜて食べる
③ ○	さわり心地	つるつる	つるつる
④ ○	かたさ	かたい	やわらかい
	しゅん	12~4月	4~5月
	あじ	すっぱい	すっぱい
	たね	たくさんある	あまりない

ぶんだん



グレープフルーツ



わたしは、ぶんだんとグレープフルーツをくらべました。

同じところは、三つあります。どちらも丸い形です。色も同じで黄色です。りょう方もさわりとつるつるしています。

ちがうところは、かたさです。ぶんだんはかたく、グレープフルーツは少しやわらかいです。



小じま みさき

※本校では、平成29年度に告示された新学習指導要領に基づき、育成すべき資質・能力の3本柱で目標及び評価を設定し研究を進めています。